



令和7年度第7回 「しが web アンケートプラス調査」

(県内向け調査)の結果について

1 調査の目的

滋賀県内にお住まいの方を対象として、滋賀県に対するイメージ・意識・認知度等についてインターネットを活用して適時迅速に調査し、速やかに県の施策に活用するための基礎資料とする。

2 調査の概要

- 調査対象 県内在住の満18歳以上の個人
- 標本数 500人
- 調査方法 インターネットを利用し、パソコン、スマホ等により回答するweb調査
- 調査期間 令和8年1月17日(土)～1月25日(日)
- 調査会社 株式会社ブランド総合研究所

3 調査項目

介護や介護の仕事に関する意識調査

4 主な調査結果 ※詳細は別添集計表(エクセル表)を参照ください。

- Q1：普段、介護の仕事を目にしたり、耳にしたりする方は約6割だった(よく+時々)(60.6%)。
- Q2：介護の仕事の内容について「よく知っている」・「食事や入浴、排泄のお世話をすることぐらいを知っている」方は6割だった(60.0%)。
- Q3：介護の仕事や介護業界へのイメージは「体力的にきつそう」が最も多く、7割を超える方が選択した(74.6%)。
- Q4：『しがけあ』プロジェクトを「知らない」と答えた人は約9割だった(87.0%)。
- Q5：『しがけあ』プロジェクトを知ったきっかけは「インターネットの記事」で知った方が最も多く、

約3割だった(27.7%)。

Q6:『しがけあ』プロジェクトの広告などを見たり、聞いたりした後の行動として、「家族や友人・知人と話をした(しようと思った)」方が最も多く、約3割だった(33.8%)。

Q7:『しがけあ』プロジェクトの内、知っている取組としては、「滋賀の学生と介護のミライを考えるプロジェクト」を知っていると答えた方が最も多く、約3割の方が選択した(32.3%)。

Q8:『しがけあ』プロジェクトについて見たり、聞いたりしたことで介護の仕事に対して、以前と比べ興味・関心を感じるようになったかについては、「非常にそう思う」「そう思う」と答え方は、約半数だった(49.3%)。

Q9:『しがけあ』プロジェクトについて見たり、聞いたりしたことで介護の仕事に対して、就職してもよいと感じるようになったかについては、「非常にそう思う」「そう思う」と答え方は、約4割だった(41.5%)。

Q10:職業の選択に際して、何を重要視するかについては、「給料」と答えた方が最も多く、約半数だった(50.8%)。

Q11:「どのような取組が実施されると良いと思うか」については、「広報」「PR」「発信」「アピール」「紹介」「テレビ」「イベント」といった語句が確認でき、テレビやSNS、イベントなどを通じて介護の仕事を広く紹介し、県民に知ってもらう必要性に関する意見が見られた。